

説教

エペソ書連講(21)

「愛のうちに歩む」

エペソ人への手紙5章1-14節

竿代照夫 牧師

主テキスト：

**「愛されている子どもらしく、
神にならう者となりなさい。ま
た、愛のうちに歩みなさい。」**

(エペソ 5 : 1 - 2)

前回の復習（4:25-32）： 「古い人」と「新しい人」との対比

- 偽り v s 真実さ（25節）
- 怒り v s 和解（26 – 27節）
- 盗み v s 勤労（28節）
- 悪口 v s 建徳（29節）
- 聖霊を悲しませる v s 喜ばせる
（30節）
- 悪意 v s 親切（31 – 32節）

5章における歩み (日常生活)の側面

「愛のうちに歩む」(2節)

「光の中を歩む」(8節)

「賢く歩む」(15節)

「愛のうちを歩む」とは：

1. 神の愛に応えて生きること
(1 - 2 節)
 - ・ 愛なる神に倣う者となる
(ルカ 6 : 35 - 36)
 - ・ キリストは犠牲の愛を示された
(1ヨハネ 4 : 10)
 - ・ この愛に応えて神とお互いのために自分を捧げる
(1ヨハネ 3 : 16)

「愛のうちを歩む」とは：

2. 汚れから離れること（3 - 4 節）
 - ・ 愛に応えて、聖く生きる
 - ・ 汚れとは：「不品行、むさぼり、みだら、愚かな話、下品な冗談・・・」
 - ・ 会話の中に汚れを許容しない
 - ・ いつも感謝することは、聖い生き方に繋がる

「愛のうちを歩む」とは：

3. 汚れの仲間に入らないこと
(5 - 7 節)
- ・ 汚れた人々は御国を相続しない
 - ・ 彼らと価値観を共有してはいけない

おわりに

- ・ 愛されていることを感謝しよう
- ・ その愛に精一杯応えよう